



江口信義会頭



江上 均市長



福岡県商工会議所青年部連合会会員大会 大川大会開催

ラモスさん語る ハートに火を付けた!



福岡県商工会議所青年部連合会会員大会が、八月九日、大川市文化センターで開かれました。

大会テーマは、「一想千金、一動万金(夢を持ち未来を想像すること)、またその夢に向かって『動く』ことの大切さを肌と心で感じて下さい。」プログラムでは、午前中のサッカー教室を続き、元日本代表ラモスさんが登場。一般公開された会場は、ほぼ満員で、講演、対談に大いに盛り上がった。

当日は、台風の影響でラモスさんの到着が危ぶまれていたが、何とか、朝十時に無事到着。沖縄、関空、新幹線と余分の交通経路を駆使し、何とか大川に着いた。

休む間もなく始まった少年サッカー教室では、ラモスさんはほとんど寝ていない状態であったが、小学校五年生から中学一年までの少年たち約一五〇人の子供たちに、熱く声をかけながら、バス、ドリブル、リフティング、トラップなどエネルギー的に指導を行った。技術面も勿論だが、内面の大切さも強調した。一同を集めた話の中では、「集中して





ラモスさんは子供達に

熱心に指導されていた。

それは、サッカーを伝えたい…

ラモスさんの熱意があった。

子供達もとても真剣で、

サッカーを通じて心が

通いあっているようであった。

ラモス瑠偉

主催／大川西工会議所青年部 共催／大川市サッカ

委員会・大川市体育協会



物事に取り組むこと」「今自分があるのは、自分

の力だけでなく、他の人たちに対する感謝の気持ちを忘れないこと」と說いた。子供たちも真剣なまなざしで聞き入つていた。

午後からは、質問形式のラ

モスさんの講演。日本に帰化した経緯。家族のこと、芸能人との交流など楽しく語った。そして今のJリーグに対しても、「私たちの時代よりも正確レベルが落ちているように思う。かつてよさや自分のことだけを考えている選手が多い。国やファンのためを想い、気迫を込めることが必要。」と苦言を呈した。

その後の対談は、コーディ

ネータ津村弘毅県連会長の進行のもと、日本商工会議所全

国商工会議所青年部連合会会長の鈴木悌介さん、前会長の大脇唯眞さんと共に再登場。

「日の丸を背負う」と、「本物のハートをしつかり受け止めること」、「将来の夢」などの

テーマで話しあつた。二人の

言動からはいずれも、真摯に情熱を傾けて、物事や将来に立ち向かっていく姿勢が醸し出されており、大いに聴衆を引きつけた。ちなみにラモスターを作りたい。ここで子供たちにサッカーを教えて、人間教育に貢献したい。また声がかかるべき監督としての仕事がしたい」とのこと。

大会全体を通して、ラモスさんの情熱や気概が、聴衆に活気を与えていた。サッカーを知らない青年部関係者たちも、今回新たにファンになつた人もいて、「ラモスさんの魅力が浮き彫りになつていて」。

